

ソイケア[®] EX

性状：褐色懸濁液体
成分：大豆たんぱく質の微生物分解物（ペプチド）

製品規格：500ml×2本
理研グリーン登録商標

大豆由来の「**ペプチド***」が、**作物の根を活性化！**
水・養分の吸収効率の向上が期待できます。

※複数のアミノ酸が繋がってできた分子

とうもろこし幼苗に対する試験事例



無処理区



ソイケア[®] EX

対象作物：とうもろこし（スイートコーン 品種：ゴールドラッシュ）

試験場所：理研グリーン グリーン研究所ガラス温室

試験方法：2022年2月2日に播種、2月23日（播種21日後）に根部を洗浄し5cmに切り揃え、ソイケア EX 1000倍希釈液に24時間浸漬。その後土壌を充填したポットへ定植。

調査日：2022年3月10日（定植14日後）

試験結果：無処理区と比較して、本資材処理区では地下部の活性化が認められた。

てんさいに対する試験事例



無処理区

ソイケア[®] EX

対象作物：てんさい

（品種：プロメテウス）

試験場所：北海道せたな町（露地栽培）

試験方法：2024年4月28日に定植、ソイケア EX 1000倍希釈液を100L/10aで2回土壌散布

散布日：2024年6月6日、7月10日

調査日：2024年9月19日

試験結果：無処理区と比較して、本資材処理区では、1個体あたりの収量の改善が認められた（平均1.36倍）。それに伴い1個体あたりの推定糖量も増加した（平均1.27倍）。

ばれいしょに対する試験事例



無処理区



ソイケアEX

対象作物：ばれいしょ（品種：男爵）

試験場所：北海道豊浦町（露地栽培）

試験方法：2024年5月10日に定植、ソイケアEX 1000倍希釈液を1回目100L/10a、2回目120L/10aで土壌散布

散布日：2024年6月21日、6月28日

調査日：2024年9月18日（定植131日後）

試験結果：各5株の塊茎を掘り出して規格の数量を測定した結果、本資材処理区は無処理区に比べてM～2Lの塊茎数が多かった。

使用方法

対象作物	散布の開始時期	使用方法	希釈倍数	散布水量
トマト	苗定植時	全面土壌散布	500～1,000倍	100L/10a
ばれいしょ	着蕾期前			
てんさい	生育初期			
とうもろこし	幼苗期	浸漬処理		

使用上の注意事項

- 最初の散布から約10日間隔で、2～3回の連続散布を推奨します
- アブラナ科の作物には生育を抑制する可能性があるため使用を控えてください
- 本資材はアルカリ性なので、他剤または他資材と混用散布する場合は注意してください

対象作物は現地で効果を確認しながら順次拡大予定

製造販売元  株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 <https://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在（仙台支店にて代行受付）
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953
静岡支店 TEL.054(283)0691 FAX.054(291)4261

名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061
大阪支店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811
福岡駐在（大阪支店にて代行受付）